

北朝鮮の地下核実験実施に対する

日本非核宣言自治体協議会会長コメント

本日、北朝鮮が、地下核実験を実施したとの報道に接しました。国際社会の「核兵器のない世界」を求める声を無視しての核実験実施は、被爆国の自治体として、到底、許しがたく、激しい憤りを覚えます。

北朝鮮は、2006年にも、国際社会の制止を無視して、核実験を強行し、孤立化を深めてきました。今回の核実験は、オバマ米国大統領の登場により広がってきた核兵器廃絶を求める流れを無視した国際社会への深刻な脅しであり、被爆国の自治体の住民を不安に陥れる暴挙でしかありません。

私たち日本非核宣言自治体協議会では、北朝鮮首脳に対して、直ちに厳重な抗議文を送付して、核兵器の開発の即時中止を求めるとともに、あわせて、日本政府へ、地域住民の暮らしの安全を守るために、今後も毅然とした対応をお願いする要請文を送付いたします。

2009(平成21)年5月25日

日本非核宣言自治体協議会

会長(長崎市長) 田上 富久